

# 全国協議会 ニュース

2007年4月1日発行  
第178号

発行所  
特定非営利活動法人  
全国骨髄バンク  
推進連絡協議会  
〒160-0005 東京都  
新宿区愛住町23-1  
Woody21-9階  
TEL.(03)3356-8217  
FAX.(03)3356-8637  
発行責任者:品川 保弘  
http://www.marrow.or.jp/  
E-mail:office@marrow.or.jp

郵便振替口座  
00150-4-15754  
銀行口座  
三井住友銀行 新宿通支店  
普通 5666655

## 「2007年ボランティアの集い」を開催します

# 今年は静岡です！

来る5月に静岡市でボランティアの皆さんをお迎えするた  
め、実行委員会を立ち上げ一年準備してきました。現在、詰  
めの作業に追われています。

第2部では『全国ボランティアの集い』とあるように全国  
のボランティアの皆さんとの交流の場にしたいと考え企画し  
てきました。そこで、来場者の皆さん参加型の意見交換会を  
企画します。また、副題に『あなたの勇気で愛と命のかけ橋  
を』としまして元患者さんによるミニコンサートやミュージ  
カルを一般来場者の方にも楽しんでいただき、少しでも命に  
ついて考える機会になればと思います。

第3部では懇親会を企画しております。ここでは静岡の味  
を楽しまつ、各団体の交流の場として趣向をこらしてお迎  
えます。

また、静岡の歴史と文化に触れていただき、是非とも観光  
して帰っていただきたいと思えます。たくさんの方々のお  
越しを心よりお待ちしております。(静岡の会 堀井)

■5月26日(土) 13:30~16:30  
◎2007年 全国骨髄バンクボランティアの集い in 静岡  
(男女共同参画センター あざれあ)  
記念式典・ミニコンサート・ミュージカル・意見交換会  
◎懇親会 18:30~20:00  
(クーポール会館)  
■5月27日(日)  
◎全国協議会総会・代表者会議  
(男女共同参画センター あざれあ)  
※全国大会についてのお問い合わせは、全国協議会まで  
TEL 03-3356-8217

### 北海道協会からのレポート

## 北見保健所で初の「ドナーネットワーク」が中心となる

北海道東部に位置する北見市は人口約13万人。旭川赤十字血液センターの出張所があるが固定窓口ではないので、登録は出来ない。しかし1995年から保健所でドナー登録が出来るようになり、2002年からは献血併行登録会を献血バスで開催することも可能になった。隣の網走市で登録会をしていた時、網走在住のドナーネットワークが、「この地域では登録していても、ドナーネットワークを進める段階になると殆ど断られてしまう」と話してくれた。提供に至るまで、3時間以上かかる釧路、旭川、札幌に5回以上は行かなければならないことを伝えた時点で断られてしまうとのことだった。この事態を数年間北海道各地区代表者会議の場で訴えてきたのだが、打開策は見

つけられなかった。更にほぼ同時期、赤十字病院にいた唯一の調整医師が開業し、大変な忙しさから調整役を返上、それ以来この地方には調整医師がいない。そして昨年、この地域では新聞以上に熱心に読まれている情報誌に、「移植に時間・距離の壁」と題し、「ドナー候補の通知が届いた男性の苦悩を記事にされたものが載った。影響は大きく、その年の登録数は激減した。このような状況で、北網地区での活動の意味そのものを問われることとなり、札幌での対応を迫られ、代表協力医師及び道庁との折衝を始めた。

当初は、「医療の世界でもインターネットは広く活用されており、調整医師は面談しなければ役目を果たせないのか」との疑問を専門医に持ちかけた。結果は財団はさらに踏み込んで調整医師不在でも可としたが、この段階では、代表医師の北大今村教授、採取件数の多い北極病院登井副院長お二人のインターネットで可能との意見により、直ちに北海道保健福祉部長・今村教授・北海道協会理事長の三者で財団に要望書を提出した。そこで判断は財団がすることだが、地元の仕事は受け入れ医療機関をつかまえることである。地方病院の中からそれを見つかるかという問題に直面した。三者協議を重ね、保健所しかないとの結論に至り、道庁が北見保健所を動かした。

初回ドナーネットワークにおいてこの方法が全国に広まることを期待する。(水元・加藤) ※ 関連情報はバンクNOWに掲載しています。

果は財団はさらに踏み込んで調整医師不在でも可としたが、この段階では、代表医師の北大今村教授、採取件数の多い北極病院登井副院長お二人のインターネットで可能との意見により、直ちに北海道保健福祉部長・今村教授・北海道協会理事長の三者で財団に要望書を提出した。そこで判断は財団がすることだが、地元の仕事は受け入れ医療機関をつかまえることである。地方病院の中からそれを見つかるかという問題に直面した。三者協議を重ね、保健所しかないとの結論に至り、道庁が北見保健所を動かした。

初回ドナーネットワークにおいてこの方法が全国に広まることを期待する。(水元・加藤) ※ 関連情報はバンクNOWに掲載しています。

## 第4回役員選考のための選挙結果

第4回役員選考のための選挙の開票を3月25日 全国協議会事務局にて行いましたので、その結果を次の通り報告します。

2007年3月26日  
選挙管理委員長 梅田正造

1.九州地区推薦理事 有権者(団体数) 9 投票者数 8 有効投票票 8 無効投票票 0	(投票率 88.9%)
投票結果 名前 得票数 中村 福代 6 中川 里枝子 4 平塚 健一郎 3 嶋持 敏子 3	当選 当選 次点 次点
2.公募理事 有権者(団体数) 49 投票者数 39 有効投票票 38 無効投票票 1 最低得票数 13	(投票率 79.6%)
投票結果 名前 得票数 一苗 浩淳 35 遠山 晋和 34 菅 泉屋 33 四角 保弘 33 品川 保真 32 小川 真祐 31 下村 三三 30 大橋 修 29 森 修 16	当選 当選 当選 当選 当選 当選 当選 次点

※なお、立候補者のなかつた役員については、役員選考規程第13条に基づき、役員選考委員会により、役員有資格者が選出されます。

## ブロックセミナー開催

北海道  
北海道ブロックのボランティアセミナーが3月3日、札幌市社会福祉総合センターで開催され全道各地からボランティア会員47名が参加しました。  
ドナーが見つかりながら、なかなか移植にまで結びつかないなど、様々な問題を抱える「初期段階におけるドナーネットワークの状況」をテーマに全員で学習しました。

コーディネートを開始しても45パーセント近くが「ドナー理由終了」となっている現実、ドナー登録時の丁寧な説明が必要であり、同時に骨髄バンクニュースの「日本骨髄バンクの現状」掲載データの裏にある実態がどういった状況にあるのかを知ることが出来ました。  
私たちが普段の活動ではド

3月10日、宮城の担当で東北ブロックセミナーをKKRホテル仙台で開催しました。  
主催の四方田副理事長のもと6県から44名が参集。第1部は各県からの1年間の活動と特徴的な動き、今後の課題や考え方などを報告、第2部では「骨髄バンク運動の新たな展開」と題して4テーブルに分かれてのグループ討論を約2時間、あえて結論を求めないでも活発な意見の交換が行われました。

各県の報告では、最近の活動が登録会一辺倒に集中し啓蒙活動がおろそかになってきた、ボランティアが疲れている、説明員の不足、説明員の専門化？などが共通の話題で、後半の討論の中心的課題ともなった。その討論ではボランティア活動は

それぞれの課題について終始熱い議論が交わされ、とても充実した時間となりました。  
セミナー後は懇親会が開かれ、楽しい談笑のひと時を過ごしながら交流を深めました。ボランティア経験と人生経験豊富な先輩方のお話は大変興味深く、今後の私のボランティア活動及び人生への大きな励みとなりました。ありがとうございました。  
(とちぎの会 松本)

## 東海北陸

岐阜募る会の高山支部では、これまでの停滞からの脱出の起爆剤として、高山ライオンズクラブの支援のもと、講演会を企画して頂きましたので、これに合わせたブロックセミナーとしました。  
講演会に先立つボランティア情報交換会では、愛知、岐阜と高山支部の14名で、講演会のテーマに関する患者支援施設での取り組みの状況や、当日の講演会への準備経過等の報告、元患者の会員や家族からの関病現

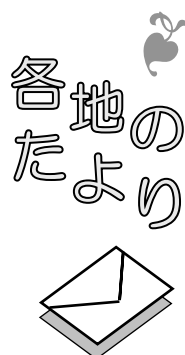


第69回  
理事会報告  
3月18日  
全国骨髄バンク推進連絡協議会事務局

- 2月会計報告
- 報告事項
  - 財団関連
  - バインクルライド2007進捗状況
  - 「白血病と言われたら」進捗状況
  - 第4回役員選挙進行状況
  - 2008年度全国大会開催地応募状況
  - あやちゃん展等予約状況
  - ドナーサポート事業
  - 佐藤さち子患者支援基金
  - 白血病患者フリーダイヤル
- 顧問会議設置について
- グッズ作成について

三養ウェルファーマ株式会社  
http://www.m-pharma.co.jp

# 創薬力



各地のたよりを  
写真を添えて  
お寄せください。

### 埼玉 第6回医療相談会 & 患者・家族交流会

3月10日、埼玉県と埼玉連絡会の主催による「第6回 医療相談会 & 患者・家族交流会」がさいたま市内で開かれ、18組23名の方が参加してくれました。



はじめに、都立駒込病院の山下先生から「50歳からの骨髄移植」と題した講演を頂き、ミニ移植による50歳からの骨髄移植が増加していることについて詳しく解説してもらいました。相談会では、山下先生のほか、県立小児医療センターの花田先生、県立がんセンターの棚本先生に、一人ひとり丁寧に対応して頂きました。参加者からは「今まで分からなかった細かい部分も教えてもらい、不安が消えました」との感想が寄せられました。相談会と併行して行われた交流会では、財団の五月女さんと宇田川さんから患者の医療費負担に対するバックアップや、実際の移植に至るまでの流れ、などについて説明と質疑応答があ

### 岐阜 12年ぶりの シンポジウム開催

3月10日に高山にて「2007骨髄バンク講演会 患者家族の支援施設の現場から」と題してシンポジウムを開



催しました。シンポジウムは平成7年以来、12年ぶりであったボランティアの意気込みがいつもよりありました。また、今回開催に対して、高山ライオンズクラブ様が全面協力していただいたおかげもあり、同時開催として「いのちの輝き展」も無事行うことが出来ました。来場された方々は一枚一枚、真剣な顔で見入っていました。高山では移植が出来る病院が無く、どうしても岐阜や、他県への転院を余儀なくされるので関心が高く、来場者の方は、講師の方や元患者さんの話に聞き入っていて、大盛況のまま終わりました。また、白血病にて亡くなられた高山市に住んでいた方の作品をご家族のご理解とご協力により、展示させて頂くことが出来ました。



演劇のエキストラを合わせて70人ほどの方が会場に集まっていたと聞きました。ハートフルな活動のある松阪市三雲町では、毎年、三雲町商工会の御協力により、商工会まつりの会場において登録会を実施し、たくさんの方に登録をいただいています。

### 大谷会長



今回も大谷会長多忙のため、ピンチランナーとして、副理事長の中野勝博さんに走っていただきました。

### 命の大切さを伝えたい

3月8日、豊中北ライオンズクラブ例會場にて、山口悦子さん、美希さん親子のお二人が、ゲストで紹介されました。悦子さんは「私の長女、真帆は学生生活を終え、社会人として羽ばたこうとしていたその時突然、白血病に襲われ、4年間の壮絶な闘病の後」と切り出され一冊の本を紹介されました。『白血病と闘った娘への手紙 天国の真帆へ』（あけび書房株式会社発行）

真帆さんが最後まで病と向かい合う姿、支え合う愛情、立ち隔たる医療の現場を率直に表現



### 2006年度賛助会員 (2月17日~3月23日)

野田あや子 角田文子 柴田純代 (敬称略)

全国協議会の活動にご賛同頂き、誠にありがとうございます。引き続き、企業・団体のほか、個人の皆様からのご協力も募っております。どうぞよろしくお願いたします。

団体(法人) 年会費 1口 5000円  
個人会員 年会費 1口 2000円  
※ お申し込みは全国協議会事務局までお願いいたします。

## ごんにちは募金箱

有限会社スペース・リンク (東京都千代田区)

いわゆる「ガテン系」に属するわが社は、博物館・美術館・遊園地・店舗等のデザイン企画から施工請負までを生業として

います。建築業界はもう長いこといわゆる「不況」で「儲かる」という言葉がしつくり来るほどの利益は、なかなか得られません。しかし「小銭なら任せて！」な

ら広報の役に立っています。シユ等も募金箱同様、地味ながら



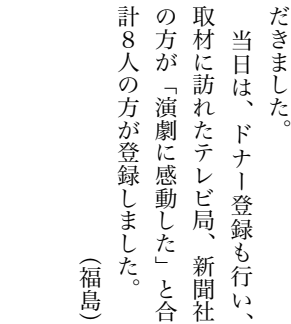
募金箱を置き始めて数年。その足並みは、遅々として、なかなか胸を張って振り込めるほどの金額が集まりませんが、時々思いもかけない方から問い合わせがあったり、ドナー登録してくださったりも数人居たり、季節

## その30

これから微力ではありますが、ボランティア活動とあわせてマイペースで、貢献していきたいと思っています。

### 三重 骨髄バンク演劇 & 講演会

3月18日、三重県松阪市にあるハートフルな活動の会主催により、「いのちの大切さを考えよう 骨髄バンク演劇 & 講演会」を開催しました。



当日は、ドナー登録も行い、取材に訪れたテレビ局、新聞社の方が「演劇に感動した」と合計8人の方が登録しました。(福島)

## 心からのご寄付に 感謝申し上げます

2月17日~3月25日

株式会社サクラホーム	現金	10,000円
愛知県豊田市立藤岡中学校	現金	10,000円
久喜市立久喜南中学校PTA	現金	8,300円
新発田北浦原看護学校	現金	30,000円
大砂土東小学校	現金	50,000円
島小学校	現金	44,943円
平島小学校4年生(藤ナカちゃんプロジェクト)	現金	7,000円
上州あかべら市場	現金	6,000円
イオンマリンピア専門館	現金	3,977円
たっくママの投稿募金2月分	現金	5,644円
ブルデンシャル生命保険(株)さいたま支部	現金	30,000円
日新火災海上(株)経営企画部広報グループ	切手	12,300円
増垣直幸	切手	450円
箱根駅伝PR実行委員会	現金	70,000円
長崎県骨髄バンク推進会議	現金	370円
医療法人もりた医院	現金	100,000円
タカハシコウジ	現金	6,000円
北沢勇一郎	現金	320,000円
有末賢	現金	100,000円
関基之	現金	100,000円
須藤勝巳	現金	27,104円
吉本ヤスタカ	現金	1,000円
塩谷圭	現金	1,000円
藤原智恵子	現金	1,074円
井上純子	現金	3,741円
宮治世之紀	現金	1,500円
匿名	現金	10,000円
匿名	現金	23,000円
匿名	現金	4,320円
齋藤雅彦	現金	7,500円
飯島孝枝	現金	2,240円
住正文	現金	10,000円
陸上自衛隊朝霞駐屯地有志一同	書損じハガキ	531枚
●佐藤さち子患者支援基金	匿名	現金 3,000円
匿名	現金	10,000円
日根和美	現金	44,007円
垂井町立不破中学校3年E組	現金	100,000円
福島県骨髄バンク推進連絡協議会津支部	現金	100,000円
●白血病患者支援基金	骨髄バンクを推進する会(栃木)	現金 30,000円
ファミリーマートFC池ノ上駅北口店	現金	4,389円
自遊空間 札幌伏古店	現金	8,289円
フジ北条店	現金	1,444円
グリーン薬局	現金	5,300円
サークルK楠村店	現金	47,896円
藤洋伸	現金	12,190円
医療法人大庚会今整形外科	現金	2,489円
鞠くすりのアオキこぼとの会	現金	178,724円
土沢デンタルクリニック	現金	10,000円
アリスいわた薬局	現金	392円
イリス船橋店	現金	777円

活動資金の援助をお願いします  
銀行口座  
三井住友銀行 新宿通支店  
普通 5666655  
郵便振替口座  
00150-4-15754  
特定非営利活動法人  
全国骨髄バンク推進連絡協議会

### 骨髄バンクの最新情報をお知らせする

## 骨髄バンクNOW

●北海道北見地区における確認検査の対応  
北海道では、現在6市(旭川・帯広・釧路・札幌・砂川・函館)で58名の医師が調整医師として活動していますが、北見地区は平成15年から調整医師の不在状態が続いています。  
昨年9月、北見地区での確認検査面談の方策について、北海道骨髄バンク推進協議会、北海道庁保健福祉部長、北海道地区代表協力医師から検討要請があり、関係者と財団で協議を重ねてきました。その結果、特例として、北見保健所で確認検査を行う方針となり、準備を進めています。なお最終同意面談は、当面は保健所での対応は行わず、ドナーおよびご家族に調整医師施設に向いていただくこととし、ドナーにそれを説明して了解を得たうえでコーディネートを進めることとなります。

●日本骨髄バンクの現状(平成19年2月末現在)	1月	2月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,854	3,555	274,626	346,343
患者登録者数	181	176	2,246	22,243
骨髄移植例数	62	93	-	8,121
20歳未満ドナー	-	130	4,858 <sup>*1</sup>	-
51歳以上ドナー	235 <sup>*2</sup>	120 <sup>*3</sup>	6,571 <sup>*4</sup>	-

注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。 \*1) 17年3月~ \*2) 51歳以上ドナーの延長数 \*3) 51歳以上ドナーの新規登録数 \*4) 17年9月~

し、執筆なさった母の想いを語られました。  
なお、メンバー全員の方が骨髄バンク・アクティビティとして本を購入され、その売上金の

### リレー紹介 ボランティアの仲間たち

南條久美子さん(鳥取の会)の巻

今回紹介するのは、我が会の看板娘の1人の南條さんです。長年、鳥取市内の病院の調理室で働いていて、退職をあと数年に控えた時、以前から関心を持っていた骨髄バンクに登録しようと思いかけてみたら、なんと「登録年齢以上」その時初めて年齢制限がある事を知ったそうです。  
登録できずにガッカリ。でも南條さんは、それならと我が「鳥取県骨髄バンクを支援する会」に加わり、ボランティアとして

一部を山口さんより全国協議会にご寄付頂くことになりました。優しさと、そして命の大切さ。いつばいの一冊です。(中野)